

製造元：Guangdong Juan Intelligent Technology Joint Stock Co., Ltd.

販売元：**株式会社水鏡**

本 社：埼玉県さいたま市桜区栄和3-2-25-601

問合せ：info@suikyo.co.jp (24時間対応)

U R L： <https://suikyo.co.jp/>

JUANCLOUD

JA-K6510-PO1031-W Wi-Fiネットワークカメラ 10局レコーダーセット



ユーザーマニュアル

V 2.0

目次

安全上の注意	2
無線電波についてのご注意	4
ご使用上の注意	5
JA-K6510-PO1031-W 製品構成	6
N V Rの各部の名称	7
各部の名称	8
セキュリティカメラの準備	9
カメラの可動範囲	10
アンテナの可動範囲	11
カメラへのmicroSDカード	12
カメラの設置	13
カメラ配線例	14
ハードディスクの取付	15
システムの接続	16
テレビまたはモニターでWNVR見る	17
IPカメラの追加（無線）	19
IPカメラの追加（有線）	20
機 能	21
システム設定	22
アプリのダウンロードとインストール	31
デバイスの追加方法	32
デバイスの共有	34
デバイスの共有（解除について）	37
パスワード設定	38
使用中パスワードの確認方法	39
カメラ設置位置決め用紙	40

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	 警告	この絵表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があるものを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は危険・警告・注意）が描かれています。
		記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

液漏れしたり、煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから AC アダプターを抜いてください。そのまま使用すると、発熱・火災・感電または製品の誤作動・故障の原因になります。

万一、異物が本製品の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

万一、本製品を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本製品を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近付いたり）引っ張ったりしないでください。発熱・火災・感電の原因になります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に相談してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



電源プラグのほこり等は定期的に取りってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



コンセントに差したまま AC アダプターの DC プラグに触れたり、物を接触させたりしないでください。火災、感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



液晶モニターに水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、液晶モニターのそばに薬品や水などの入った花瓶、容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、雨天、降雨中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。ペットなどの生物が本製品の上に乗らないようにしてください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因になります。



本製品や AC アダプタをあけたり、改造したりしないでください。また、本製品の内部には触れないでください。火災・感電の原因になります。



表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因



本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。火災の原因になります。



AC アダプターは必ず付属のものをご使用下さい。また、本 AC アダプターを他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因になります。



動作環境範囲外で本製品をご使用にならないでください。範囲外の温度や湿度の環境でご使用になると、発熱・火災・感電または製品の誤作動・故障などの原因になります。



金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。



本製品内部の液体などが付着したときは、こすらずにきれいな水で洗ってください。目に入った場合は、直ちに医師の診断をうけてください。



火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度の高いところに置かないで下さい。発熱・火災・感電の原因になることがあります。



ねじなどの小物類は、乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しないでください。接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。ください。倒落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。



本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。、こわれたりして、けがの原因になることがあります。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因になることがあります。



長時間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを
ら抜いてください。



お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておこな
ってください。感電の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コー
ドを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



無線電波についてのご注意

本機の無線電波の周波数帯は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、免許を要する工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用構内無線局や、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局で適用されています。このため、電波の干渉による無線通信の障害を防止するため、以下の点にご注意ください。

- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合、速やかに本機の使用場所を変えるか、無線 LAN の使用を停止してください。

本機の無線の電波について

2.4 FH 8

2.4 : 2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を表します。

FH : FH 方式（周波数ホッピング方式）変調であることを表します。

8 : 想定される干渉距離が 80m 以下を表します。

— : 使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを表します。

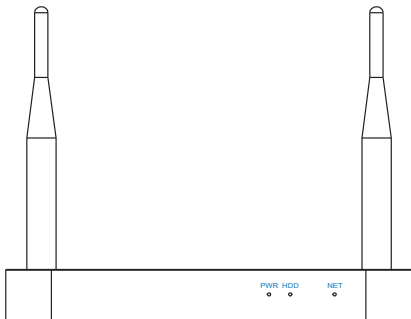
無線通信距離最大300m（見通し距離）

* 実際の環境により、ご利用できる距離は短くなる場合があります。詳細は 4 2 ページ参照

ご使用上の注意

- 本製品の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮したうえでおこなってください。
- 本製品は、一般家庭や小規模事業者での使用を目的として設計されています。
- 設置されているネットワークの状態や接続されている機器の状態により、映像・音声が届いたり、動体検知アラーム機能が働かない場合があります。どのような状態であっても動作を 100% 保証するものではありません。
- 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。
- 弊社はいかなる場合においても以下に関する一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
 - ・本製品の動作状態（正常・異常）にかかわらず、犯罪・事故等が発生した場合の損害生じた損害
 - ・本製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物への損害やその他の損害
 - ・お客様ご自身、または権限のない第三者が本製品を分解・修理・改造等をおこなったことにより生じた損害
 - ・地震・雷・風水害・雪害などの自然災害、または弊社の責任によらない火災、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・第三者による行為、その他異常な条件下での使用により生じた損害
 - ・本製品の映像や記録された映像が何らかの理由により公となり、または記録目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ・本製品を使用中に万が一関連機器の故障やメモリー内容の消去等が発生した場合の損害
- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。海外ではご使用いただけません。
- カメラ、モニターそれぞれ AC100V の電源接続が必要です。
- 本製品にスマートフォン・タブレット・microSD カードは付属していません。
- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。
- 商品改良のため、使用、外観は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。
- レコーダーのビデオ出力は1080P、1280×1024、1440×900、4K@30Hzに対応しており、この解像度以外のテレビは映ることができません。

JA-K6510-PO1031-W 製品構成



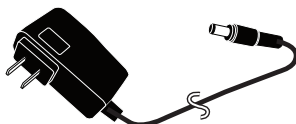
● 10局レコーダー



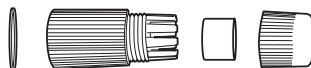
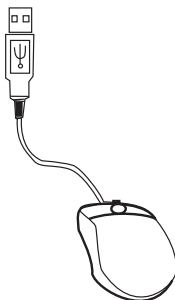
● セキュリティ
カメラ_2台



● 10局レコーダー (NVR)
電源アダプタ × 1



● セキュリティカメラ用
電源アダプタ × 2



● 防水スリーブ × 2

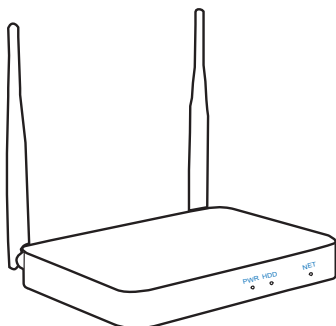


● アンカーナット
取り付けネジ
3セット × 2



● 取扱説明書

N V Rの各部の名称



N V R外観

インジケータライトについて

・PWR

点灯……通電中； 消灯……停電中

・HDD

点滅……録画中（約 1 秒間 1 回点滅）

点灯……正常に録画媒体

（HDD又はmicro-SDカード）

を読取；録画待機中

消灯……録画媒体（HDD又はmicro-SDカード）

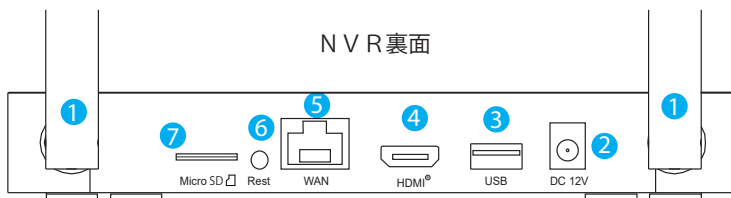
を読取れていない

・NET

速く点滅……インターネットとつないていない

ゆっくり点滅……インターネットと繋いでいるが、異常

点灯……正常にインターネットと繋いでいる



N V R裏面

- ① アンテナポート：デュアルアンテナでWi-Fi電波を全方向から受信。
- ② 電源：DC電源入力（12V 2A）
- ③ USBポート：マウスとUディスク等を接続します。
- ④ HDMIポート：高解像度テレビ等に接続します。
- ⑤ WANポート：NVRをインターネットに接続します。
- ⑥ リセットボタン：リセットします。
- ⑦ Micro SDスロット：Micro SDカードインターフェイス。

注意！_リセット方法について

3秒間長押しをしてリセットします。（音声が聞こえるまで、長押しします。）

＊パスワード、ネットワーク、その他の設定をクリアします。

ただし、カメラチャンネルはクリアせず、ボタンを離して再起動すると有効になります。

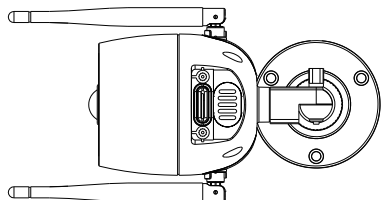
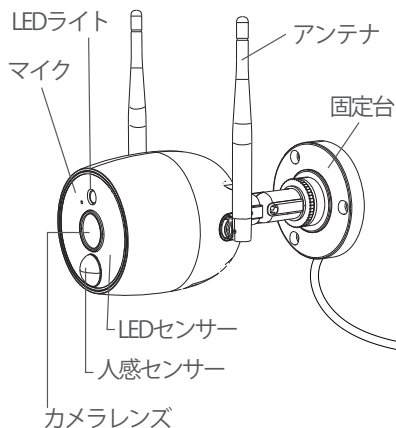
リセットボタンを10秒間押しします。（2度目の音声が聞こえるまで、長押しします。）

＊すべてがリセットされます。

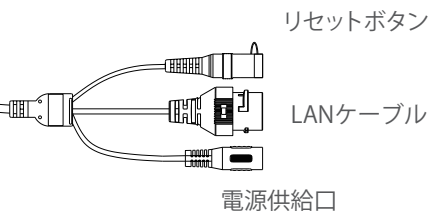
カメラチャンネルなどのすべての設定を含むパスワードがリセットされます。

各部の名称

【JA-PO1031-W】



底面：MicroSDカード
スロット+スピーカー



注意:カメラのリセット方法

カメラ本体にあるリセットボタンを約5秒長押しします。
再起動するには数分間かかる場合がありますので、しばらく待ってから、接続を再開してください。

セキュリティカメラの準備

1. カメラ用ACアダプタを取り付けます。

付属のカメラ用ACアダプタのミニプラグ側をカメラ側のケーブル先端に接続します。

* セットに入っているカメラ 2 台はレコーダーと接続済み状態で出荷しており、カメラ及びレコーダーを通电して、16～18 ページシステム設定を行い、映像確認できてから、カメラの設置に入ってください。

* ACアダプタは、必ず本製品に付属の専用ACアダプタをご使用ください。

* ACアダプタは確実に奥まで差し込んでください。

* ACアダプタは防水仕様ではありませんので、水に濡れない場所でご使用ください。

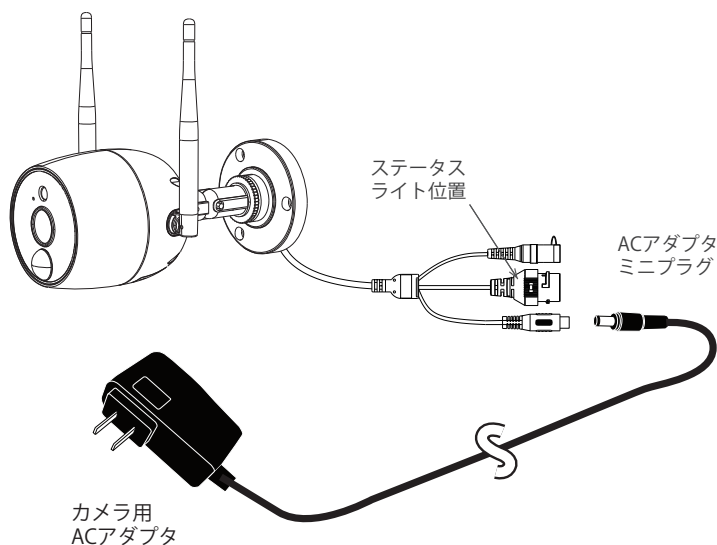
* ACアダプタミニプラグとカメラケーブルの接続部分は防水仕様になっていませんので、屋外に直接放置しないでください。
防水ボックスなどをご使用ください。

2. 通电状態になるとステータスライトが点灯します。

無線接続時のステータスライト

*** カメラを有線で繋いだ時はこの表示は無効になります。**

- 点灯なし…接続していないか機器異常
- 激しく点滅…ネットワーク接続待機中
- ゆっくり点滅…ネットワークカメラはNVR（モニター/レコーダーなど）と接続されていますがネットワークが接続されていません。

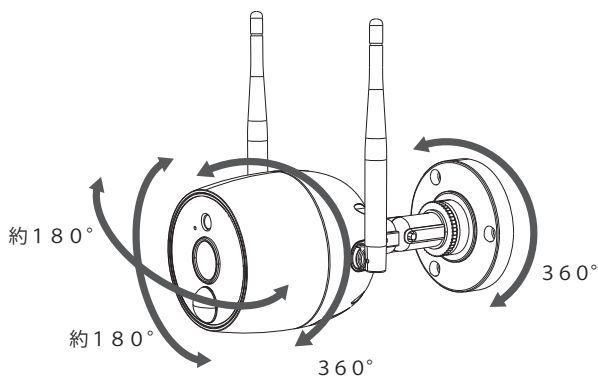
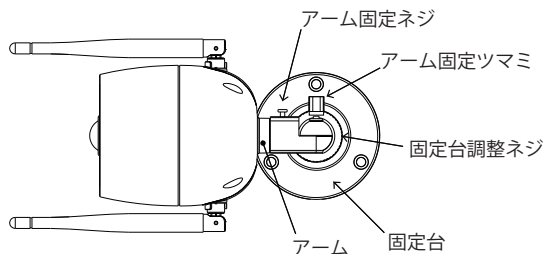


カメラの可動範囲

カメラの可動範囲は下図の通りです。
設置場所によってはカメラの角度・方向が制限されますので、設置前には必ずご確認ください。

- ・アーム固定ツマミと固定台調整ネジで角度・方向の調整をします。
*ネジは、ゆるめすぎると、外れ紛失することがありますので十分注意してください。

(調整部名称)



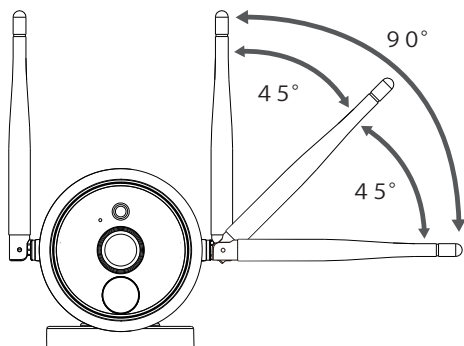
固定台調整ネジを
緩めて調整する必
要があります。

アーム固定ネジを緩めて調整する必要があります。
必要以上に回さないでください。
基本的に微調整用です。
電源コードがねじれ断線する可能性があります。

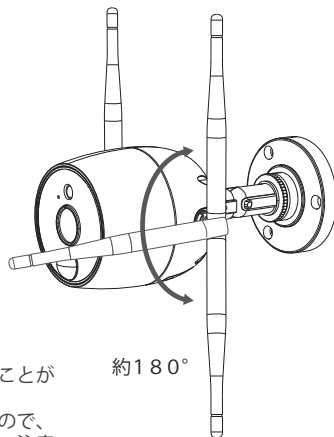
アンテナの可動範囲

アンテナの可動範囲は下図の通りです。
設置場所によってもアンテナの角度・方向が制限されますので、設置前には必ずご確認ください。

*アンテナの調整は、無理な力を入れすぎると折れてしまう場合がありますので十分注意してください。



横方向
45° に固定ができます。
90° 以上は曲がりません
無理に曲げると壊れますので
ご注意ください。

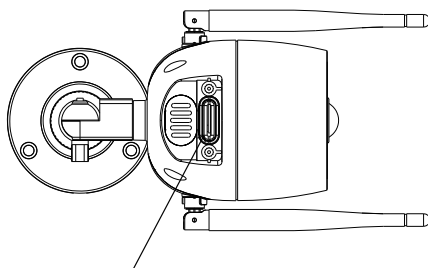


縦方向
任意に約180° まで曲げることが
可能です。
約180° 以上は曲りませんので、
無理に曲げると壊れますので注意
お願いいたします。

約180°

カメラへのmicroSDカード

「単独使用ではない場合、録画の保存媒体はカメラを接続してあるNVR(モニター/レコーダー)になります。カメラにmicro-SDカードを差し込んでも、録画しません。 IPカメラとして、単独使用する場合のみ、カメラ本体に差し込んだmicro-SDカードが録画媒体になります。



MicroSDカード挿入口

記録メディアについて

■microSDはClass10以上を推奨。

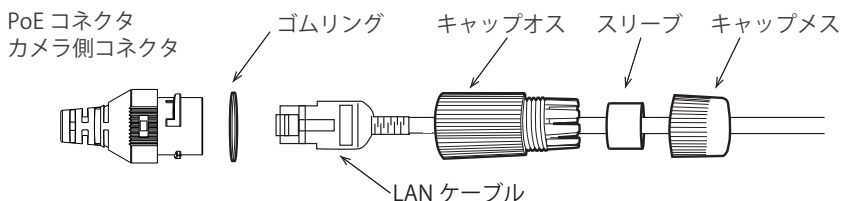
また、書き込み耐性の強い「SLC」や「MLC」タイプを推奨します。

■それぞれの記憶メディアには寿命の目安がありますので、下記の目安を参考に定期的に交換するなどしてご利用ください。

目安:「SLC」約10万回「MLC」約1万回「TLC」約1000回

- 記録メディアの寿命については記録メディアの製造メーカーにお問合せください。
- microSDは消耗品です。1～2年を目安に交換をお勧めします。
- microSDは1～2ヶ月を目安に本機で定期的にフォーマットしてください。

防水スリーブ取付方法



- 1) ゴムリングを PoE コネクタに挿入します。
- 2) LAN ケーブルに、キャップメス、スリーブ、キャップオスの順に挿入します。
- 3) LAN ケーブルを PoE コネクタに接続し、キャップオスをしっかりと PoE コネクタに締め付けます。
- 4) キャップオスとメスの間にスリーブを挿入します
- 5) キャップオスとメスをしっかりと締め付けてください。

カメラの設置

カメラを設置する前に、映像および受信確認を行ってください。

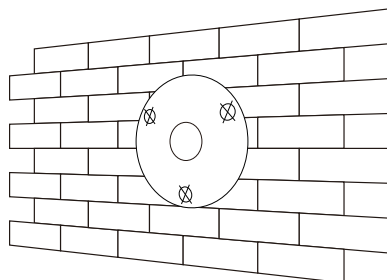
1. カメラを設置する場所を決めます。

* 固定台の径：約Φ69mm

取り付ける場所に、カメラ設置位置決め用紙を貼り付けます。

“カメラ設置位置決め用紙”は本取説の最後のページから切り取ってお使いください。

(コンクリート面などにアンカーを設置する場合の目安として下さい)



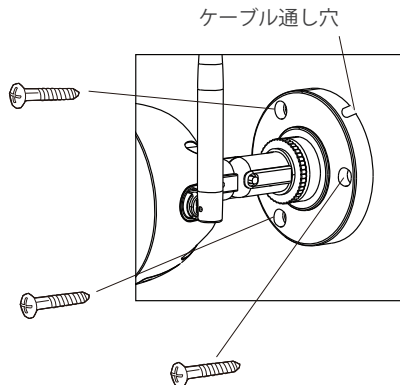
カメラ設置位置決め用紙貼り付け

付属のネジは、全ての壁面材質に適合するものではありません。取り付ける壁面に適したものをご使用ください。

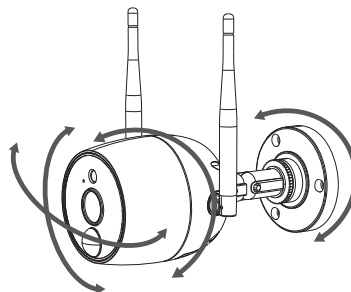
2. カメラを取り付けます。

①ケーブルを壁に沿わずする場合
固定台のケーブル通し穴からケーブルに沿わせてください。

②壁にケーブルを通す場合
固定台の中心にΦ2.0mmほどの穴を開け、配線してください。



3. ACアダプタを接続し、カメラの角度、方向をモニターを見ながら調整してください。
- カメラの稼働範囲を右図を参照していただき調整してください。
 - 調整後は、各部位をしっかりと固定してください。

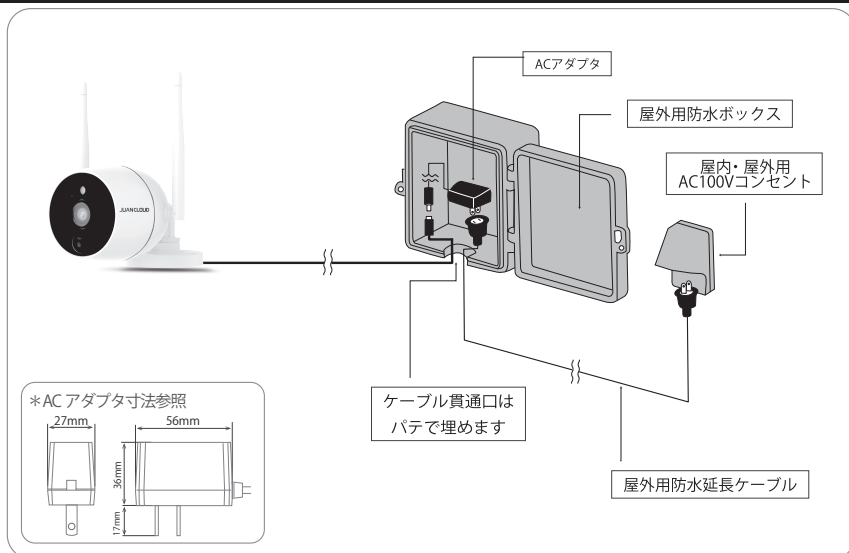


注意

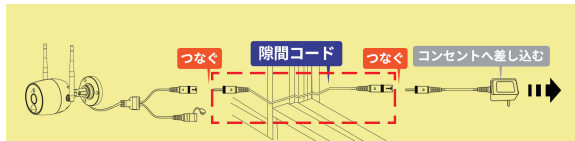
PIRは、高温および低温の変動に敏感です。次の点に注意してください。

- 空気の流れが激しくなる場所にカメラを設置することは避けてください。
例：エアコンの排気口、機器の放熱口、ファンの側面、カーテンの近くなど。
- ガラスや鏡の前にカメラを設置しないでください。
- カメラ設置の高さは、PIRトリガーの最適距離である2.5M～3Mである必要があります。
- カメラを逆さまに設置しないでください。

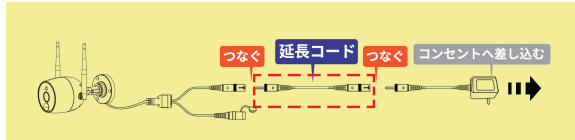
カメラ配線例



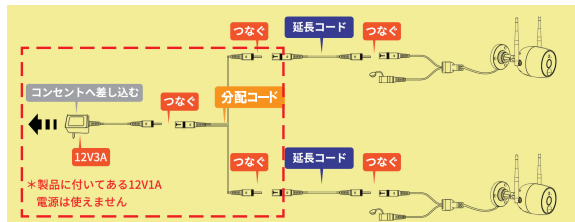
すき間コード Jan4580720313032



延長コード Jan4580720313025



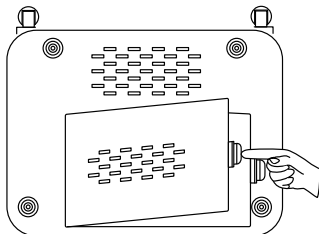
分配コード Jan4580720313056



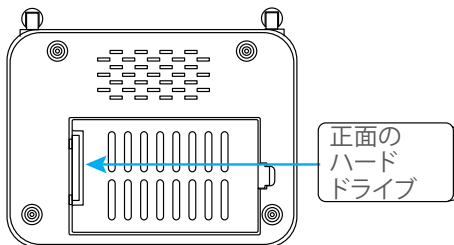
カメラ等の配線には右図の様なコードも別売りで用意しております。必要に応じて購入ください。

ハードディスクの取付

1. 底面のハードディスクカバーを開き、カバーを取り外します。

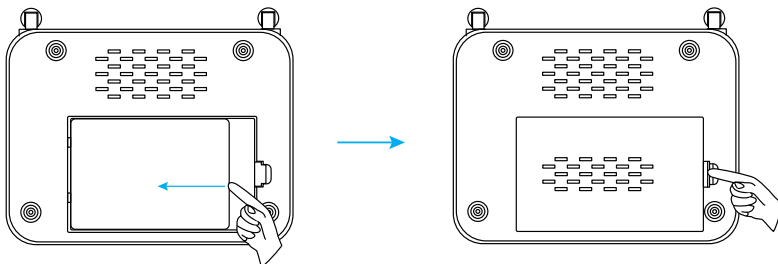


2. ハードディスクソケットをNVRの配線ポートに合わせる。
*注意：ハードディスク、およびハードディスクの挿入方向に注意してください。



3. ハードディスクをハードディスクソケットに合わせ、左に押し、ハードディスクを固定し、ハードディスクカバーを取り付けます。

*注意：「ハードディスクは消耗品です。1～2年を目安に交換をお勧めします。
1～2か月を目安に本体で定期的にフォーマットしてください。



システムの接続

以下の手順に示すようにシステムを接続します

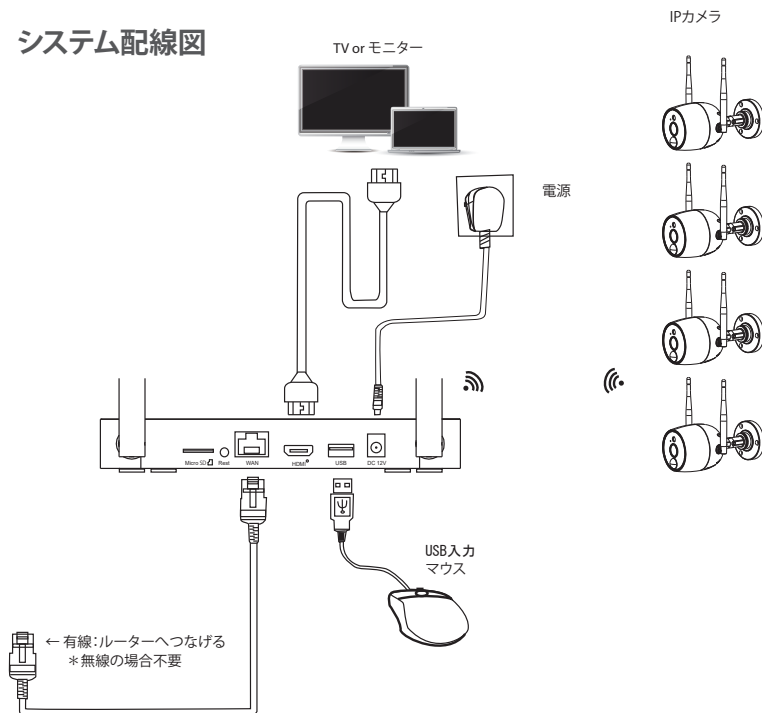
1. HDMIケーブルをNVR背面パネルのHDMIポートに接続し、もう一方の端をテレビまたはモニターのHDMIポートに接続します。
2. USBマウスをNVR背面パネルのUSBポートに接続します。
3. ネットワークケーブルの一方の端をNVR背面パネルのWANネットワークインターフェイスに接続し、もう一方の端をホームルーターまたはネットワークアクセスポイントに接続します。

ヒント：無線LANでも接続可能です。画面上で設定可能になります。

4. 電源アダプタコネクタをNVR背面パネルの電源ソケットに接続します。
しばらくすると、NVRスプラッシュ画面がモニターに表示されます。

* アダプタをサージプロテクタまたは無停電電源装置 (UPS) やサージプロテクタまたは無停電電源装置 (UPS) を使用すると停電時にも一定時間可動します。

システム配線図



テレビまたはモニターでWNVR見る

電源を入れた後、セットアップウィザードの手順に従って、言語、ネットワーク、時間の設定を完了し、リアルタイム画面、パスワード、ハードディスクを表示し、APPとデバイスをダウンロードします。

手順



まず最初に
左の画面になりますので、日本語
を選択して、次へをクリックします。



- ワイヤレスネットワーク接続をクリックしてください
- 受信している自分のWiFi名をクリックしてください
- パスワードをクリックし、表示のキーボードで、パスワードを入れ、接続をクリックします。
- ネットワーク設定画面に変わったのち「ネットワークは良好な状態です」に変わります
- 確認後次へをクリックしてください。



テレビまたはモニターでWNVR見る（続き）



日付/時刻 設定

タイムゾーンをクリックして、使用地域に併せてください。自動的に時間が変更します。

日付については、時間の自動設定をOFFにして、日付をクリックして調整してください。設定終了後、次へをクリックしてください。



・ストレージ管理

・カメラのリアルタイムを表示
セットに入ってあるカメラ2台は自動接続されます。



・パスワードの設定

6桁以上任意な英数字を入れられます。通常使用時、設定画面に入るために使います。



アプリのダウンロード

画面のQRコードから遠隔操作の

Appがダウンロードできます。

本機をAppに追加する際、「現在のデバイス」QRコードを使用します。

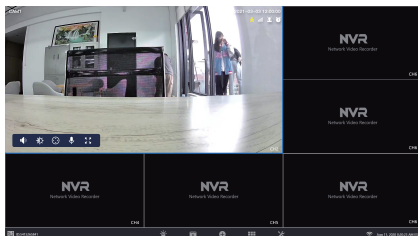
別途アプリ使用方法参照ください。

完了をクリックしてください。

付属しているワイヤレスカメラの画像が移りだされます。

IPカメラの追加（無線）

- 1) 自動追加: レコーダー機器と一緒に出荷されるワイヤレスカメラは、電源を接続し、しばらく待つだけで、レコーダーが自動的にカメラを追加し、プレビューインターフェイスで正常に追加されたカメラ画面を表示できます。



1) 自動追加

- ① 左の画像で映像が出ていないところにカーソルを持って行き「+」が出たらアイコンをクリックしてください。



- ② カメラの電源を入れ、次へをクリックしてください。

ヒント

カメラを追加するときは、カメラとレコーダーをできるだけ近くに配置してください



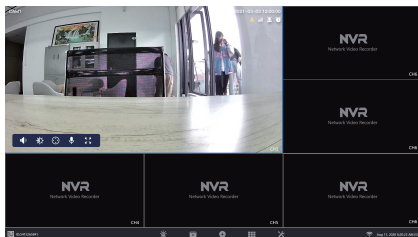
- ③ 追加するカメラが順番待ちリストに表示されたら、[次へ]をクリックします。



- ④ カメラのビデオ画面を確認し、カメラが正常に追加されたことを確認したら、[次へ]をクリックしてプレビューインターフェイスに入ります。

IPカメラの追加（無線）

1) 手動追加



- ① 左の画像で映像が出ていないところにカーソルを持って行き「+」が出たらアイコンをクリックしてください。



- ② カメラの電源を入れ、手動で追加をクリックしてください。

ヒント

カメラを追加するときは、カメラとレコーダーをできるだけ近くに配置してください



- ② カメラの電源を入れ、手動で追加をクリックしてください。
- ① 探すをクリックすると②に接続可能なカメラが表示されます。
- ③ 全て追加するをクリックして、ください。④にカメラが追加されます。

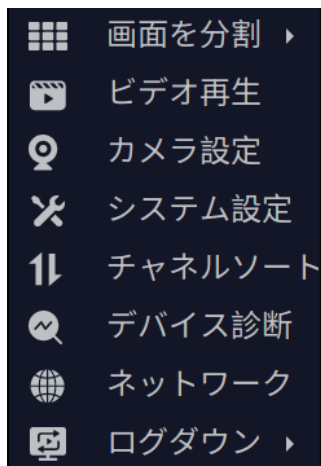
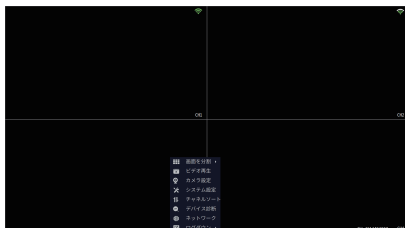
IPカメラの追加（有線）

- ① カメラを Lan ケーブルで NVR に接続しているルーターと繋ぎます。
* 最長 100m の LAN ケーブル接続を対応します。
- ② 「+」をタップします。
- ③ 「探す」をタップします。
- ④ 「192. XXX. X. XX」始まる IP をクリックして、カメラを追加します。
* カメラを Lan ケーブルで繋いだ場合は、有線と無線二つの IP が出てきます。
「172. XXX. X. XX」始まる IP は無線接続 IP になり、選択して追加すると有線接続と合わせて、同時に 2 画面表示されます。
* 通常は無線または有線どちらか一つを選んで、ご使用することをお勧めします。
- ⑤ IP は下の欄に移され、「接続成功」になったら、追加終了になります。

機 能

メニュー

画面上を右クリックすると、メインメニューバーが出てきます。
もう一度右クリックするとメニューバーが終了します。



- 画面を分割
複数のモニターを選択できます。
- ビデオ再生
録画したビデオを再生する事が出来ます。
詳細は、28ページ参照
- カメラ設定
追加したカメラに関連する設定を表示します。
- システム設定
すべてのシステム設定を管理します。
- チャネルソート
カメラチャンネルの並べ替え順序を調整します。
- デバイス診断
カメラのステータス、デバイス診断等を行います。
- ネットワーク
デバイスのネットワーク接続を表示します。
- ログダウン
ログアウト、再起動、シャットダウン機能。

システム設定

マウスを右クリック→ [システム設定]を選択します。
システム関連の設定を変更できます。



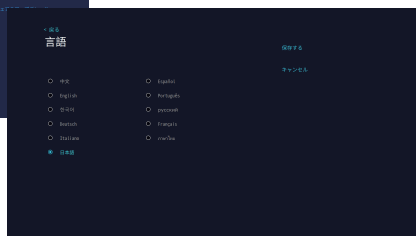
- ・汎用設定 : 言語、解像度、出力方式、音量、の表示の設定ができます。
- ・カメラ設定 : カメラの設定、録画設定、インテリジェント検出設定、アラーム設定等の設定。
- ・日付／時刻 : 時刻、日付、およびタイムゾーン情報を設定します。
- ・ネットワーク : ルーター設定、ワイヤレスチャネル設定へのネットワーク接続。
- ・デバイス診断 : カメラ診断表示とデバイス診断ができます。
- ・ストレージ設定 : ハードディスクまたはMicro SDカードの情報とフォーマットを表示します。
- ・アカウントAPP : アプリのダウンロードとパスワードの変更ができます。
- ・ヘルプとサポート : ヘルプとサポート先のURL案内。
- ・出荷時設定 : システムを工場出荷の設定を復元します。

汎用設定:言語



設定した言語に変更になります。

汎用設定画面の言語をクリックすると
下の画面に変わりますので、言語を設定してください。
設定後、"保存する"をクリックしてください

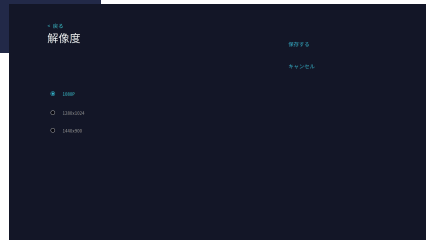


汎用設定:解像度



汎用設定画面の解像度をクリックすると下の画面に変わります。
解像度を選択して、「保存する」をクリックしてください。

設定した解像度に変更になります。
解像度につき、1080P、1280×1024、1440×900、4K@30Hz「に対応しており、この解像度以外のテレビは映ることができません。



その他

- オーディオ出力方式の▼をクリックすると、
HDMI
Speaker
HDMI+Speaker
Disabl

の選択が出来ますので、選択してください。

- 音量のバーをスライドさせて音量調整してください。

- デバイス名をクリックすると、名前の変更が出来ます。
好きな名前を入れ、保存するをクリックしてください。

- ファームアップのアップグレードをクリックしてください。
アップグレードが可能です。

カメラ設定：イベント録画



イベント録画をクリックしてください。
通常録画/イベント録画の設定のいずれかを選択してください。
また、録音の有無も選択出来ます。

選択後"保存する"をクリックしてください。



カメラ設定：イベント録画



インテリジェント検出設定をクリックしてください。検出領域、検出機能の設定ができます。

設定後"保存する"をクリックしてください。



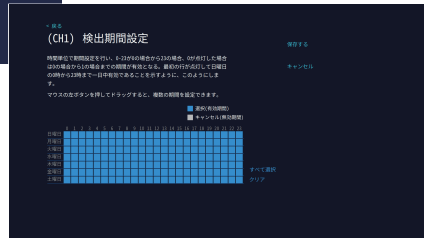
- ・カスタム検出領域
フレーム内の検出範囲の設定が出来ます。
- ・感度
フレーム範囲内の感度調整ができます。
高い・より高い・真ん中・より低い・低いの5段階
- ・人形偵察
人間を認識して作動します。(人感センサー)
- ・人形フレームスイッチ
人間を認識して作動します。

カメラ設定:アラーム期間設定



アラーム期間設定をクリックしてください。
時間単位で設定ができます。

設定後"保存する"をクリック
してください。



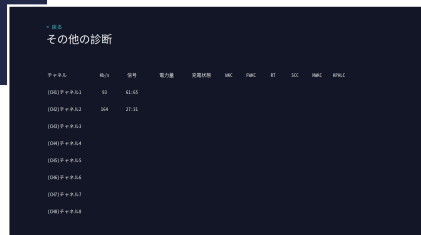
日付・時間については、〇〇ページ参照ください。

ネットワーク:ネットワーク設定で、有線・ワイヤレス・その他の設定上場等確認出来ます。

デバイス診断:カメラ判断



デバイス及びカメラの正常・異常の確認が
出来ます。
その他の診断結果をクリックすると接続し
ているチャンネルの状況が確認出来ます。

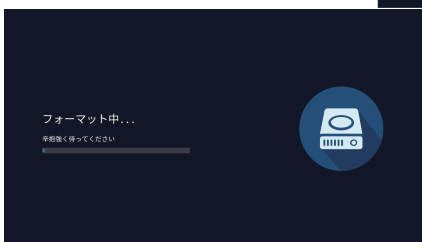
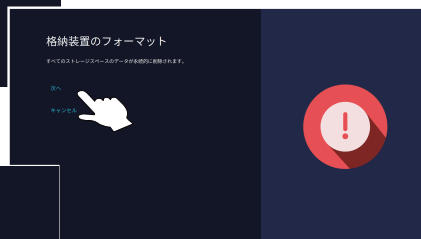


ストレージ設定:ストレージ設定



本体機器に取り付けているHDD等の情報の確認ができます。
再フォーマットをクリックしてください。
＊フォーマットが成功したら、保存していたデータが完全になくなります。

データ削除の案内がでますので、続けるなら“次へ”をクリックしてください。



フォーマットが始まります。

アカウント/APP:アプリのダウンロード

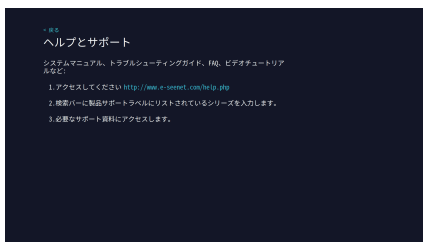


スマホ/タブレットで遠隔操作する場合、使用端末にAppをインストールする時、使用します。
アプリのダウンロードApp用QRコードが表示されます。
右が、アプリケーションのダウンロード
左が、現在のデバイスを追加用になります。

パスワードの変更をクリックしてください。
パスワード変更画面になりますので、古いパスワードと新しいパスワードをインプットし、“保存する”をクリックして保存してください。



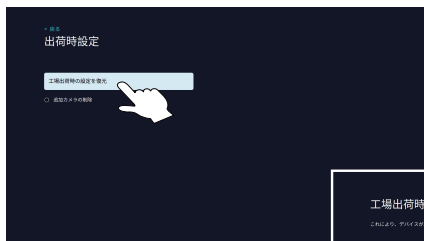
ヘルプとサポート：ヘルプとサポート



商品について、何かお問い合わせがございましたら、日本サポーターセンターへ直接ご連絡ください。

お問い合わせ先: info@suikyo.co.jp

出荷時設定：出荷時設定



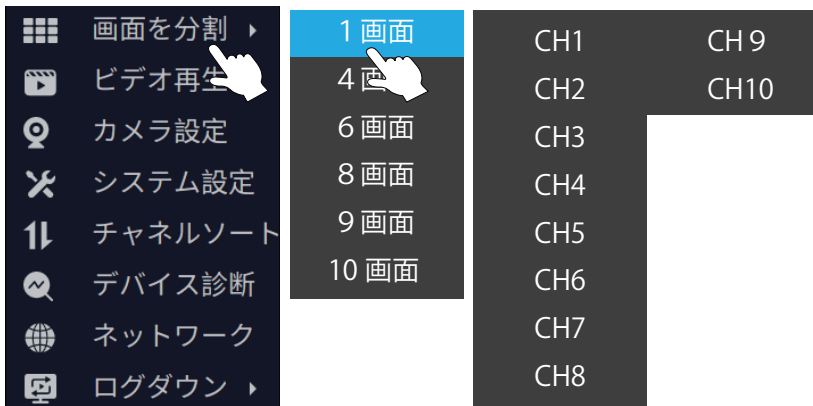
出荷時設定の工場出荷時の設定をクリックしてください。

＊追加カメラの削除にチェックマークは、現在つながっているカメラがつながらなくなります。別途おつなげください。

次へをクリックすると工場出荷時の設定を復元・・・が始まります。復元を中止する場合は、“キャンセル”をクリックしてください。



メニュー画面説明:画面分割

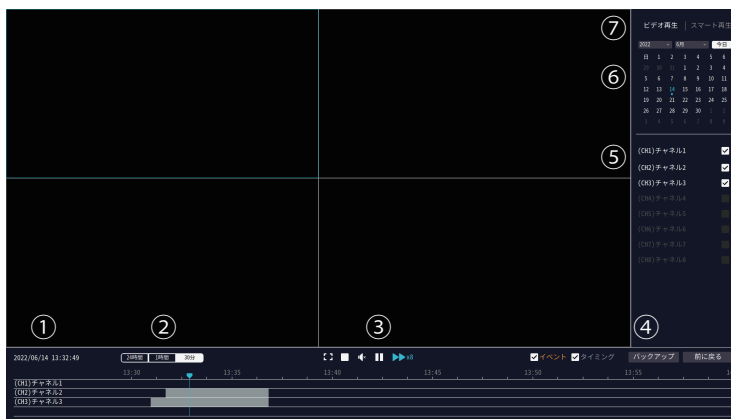
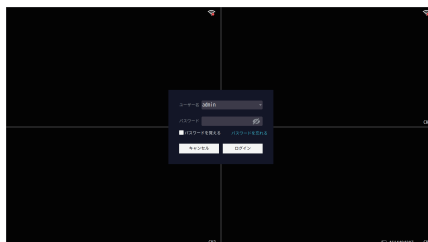


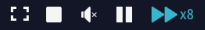
画面分割にカーソルを充てると上記の画面の様にモニター画面内で分割画面が設定されています。カメラ台数、目的などで自由に設定ができます。

メニュー画面説明:ビデオ再生



ビデオ再生をクリックしてください。
パスワードを要求された場合は、最初に決めた暗証番号をインプットしてください。

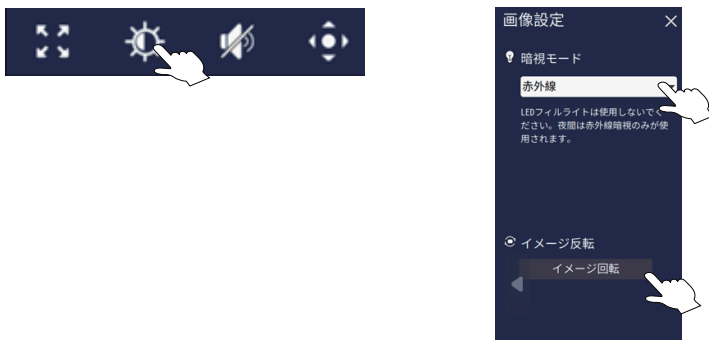


- ①: 再生している日時
- ②: 録画時間帯域表示、画面下のバーに表示
- ③:  左から
画面表示: 画面の最大化
画面の分割
スピーカーの ON/OFF
ビデオの再生・停止
早送り: × 2、× 4、× 8 倍速が出来ます。

- ④：イベント：検出による動画
 タイミング：スケジュール録画
 バックアップ：外部にバックアップできます。
 前に戻る：モニター画面に戻ります。
- ⑤：接続しているカメラの表示をしています。
- ⑥：カレンダーで録画された日時を選択します・
- ⑦：ビデオ再生：すべての録画再生
 スマート再生：人感による録画再生

メニュー画面説明:画像設定

閲覧画面にクリックして、ツールバーの「太陽」マークをクリックします。



- ①：赤外線…………… カメラの周りが一定以上に暗くなると赤外線暗視モードに変えます。
- ②：オフ…………… 暗視を無効にします。
- ③：一日中赤外線… 常に赤外線モード；画像が白黒
- ④：フルカラー…… カメラの周りが一定以上に暗くなると LED フィルライトが自動的にオンになり、画像がカラー
- ⑤頭いい…………… カメラの周りが一定以上に暗くなると、赤外線モードに代わり、画像が白黒；人感検知すると、自動的に LED フィルライトをオンになり、画像がカラー

***④と⑤は LED フィルライトが付いているデバイスのみ適用**

イメージ回転

映像を上下に変えることができます。

アプリのダウンロードとインストール

下記QRコードよりアプリをダウンロードいただくか、AppStore、Google Playにて「EseeCloud」または「Juan Cloud」と入力して検索いただくこともダウンロード可能です。

注：iOSシステムの場合、iOS 9.0バージョン以降が必要です。Androidはバージョン5.1以降が必要です。

(2023年5月時点)



iOS, Android 共通



Juan Cloud

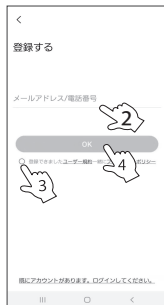


EseeCloud



動画によるご説明

4.2.2 登録



1. ログイン画面に変わりますので“登録する”をタップします。
2. 登録するの画面に変わりますので“メールアドレスまたは電話番号”を入力してください。
3. ユーザー規約・プライバシーポリシーのチェックを入れます。
4. その後、“OK”をタップします。



赤い点を通してラケットにあたるようボール操作してください。

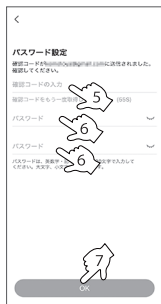
ラケットの画像が表示されますので、指示に従って操作してください。
操作後登録したメールアドレスまたは電話番号

※ 認証番号の受信は時間がかかる場合があります。

必ず確認できてから、次に進んでください。

※ 5分間かかってても、認証コードの受信が来なければ、スマホのネット環境「Wifi 又は 4G」を変えて再送信してください。

※ 1日4回迄の送信になります。



受信された認証コード確認後、
 5. パスワード設定画面の“確認コードの入力”に受信された認証コードを入力してください。
 6. パスワードを2回入力します
 (任意のパスワード6桁以上の英数)
 7. “OK”をタップします。



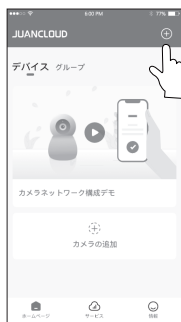
4.2.3 ログイン

登録されたメールアドレスまたは携帯番号とパスワードを入力し“OK”ボタンを押すとログインします。
 ＊2度目以降APPを開くとき、ログイン画面が表示されます。

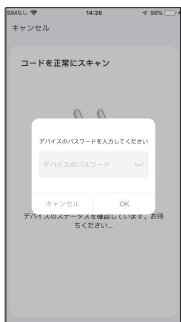
デバイスの追加方法

注意:カメラおよびルーターの電源が入っていることを確認し、接続する携帯端末およびWi-Fi ルーターに近づけます。

まず、レコーダーとApp 端末（スマホ／タブレット）を同一 2.4GWi-Fi につないであることを確認できてから、つぎの操作を始めましょう。

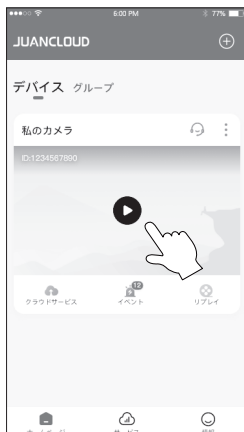


- 1) 右上にある追加ボタン (+) をタップします。
- 2) スキャン読み取りに切り替わります。
- 3) 製品のID「QRコード」をスキャンします。
レコーダー裏、または設定画面にあります。



- 4) レコーダー設定時に作った「デバイスのパスワード」を入力します。
任意なデバイス名を入力します。
(空欄にして「OK」をタップしたら、デバイスという名前になります。)

デバイスの追加方法 つづき



5)
正常に追加されました。
「完了」をタップします。

6)
デバイスが正常に追加されました。
再生をクリックして画面を表示します。

※プレイできない場合は、アプリを完全に
閉じてから再起動してください。

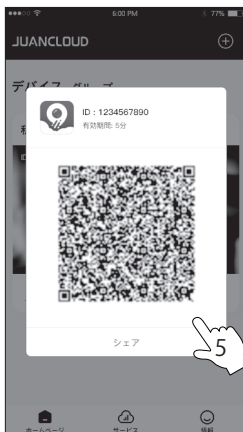
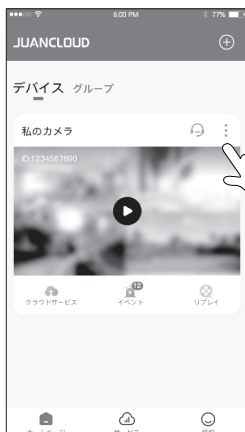
デバイスの共有

デバイスの共有

シェア：このシステムを複数人での使用（共有・シェア）の方法の手順

＊シェア人数の制限はありません。

ただし、同時にシステムにアクセスできる人数は3人～4人までです。



1. “デバイスリスク”：“”をタップして、“共有”をタップします；

2. “カスタム”をタップし、発行する共有用のQRコードに、有効時間制限を設けることができます。

3. “ビデオプレビュー”

以外に共有したい項目があれば、画面をタップして“レ”を表示させてください。

4. 決定後、右上の“完了”をタップします。

5. 表示された共有用“QRコード”を、共有する端末で、デバイスの追加を行えば共有できます。

5. 1 共有する端末に、アプリをダウンロードしインストールしてください。

5. 2 共有用「QRコード」を端末に追加してください。

追加方法は、次の2通りです。

① QRコードをスキャンする方法

② QRコードを共有する端末に保存している場合

デバイスの共有 つづき

① QRコードをスキャンする方法

設定有権者(親機)が表示したQRコードを共有する端末でスキャンしてください。



スキャン手順

スキャン画面にし、QRコードをスキャンします。

1. スキャン成功後“追加を確認”をタップします。

タップ後“デバイスを追加して共有します”の画面に変わり共有可能になります。



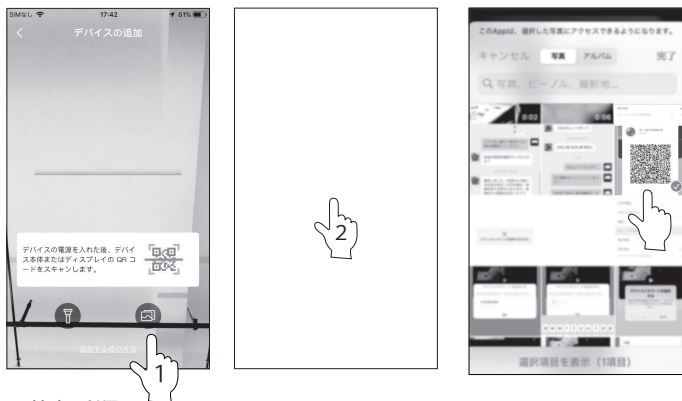
2. 正常に追加されたら、再生をクリックして画面を表示します；

3. シェア表示になります。

*シェア機の場合のみ表示

デバイスの共有 つづき

② QRコードを共有する端末に保存している場合



共有手順

最初に、共有するQRコードを端末に保存していることをお確認してください。

1. スキャンコード ページを入力し、右下隅のアイコンをタップします。
2. 画面が変わり” 写真を選択” をタップします。

3. ”追加” をタップします。

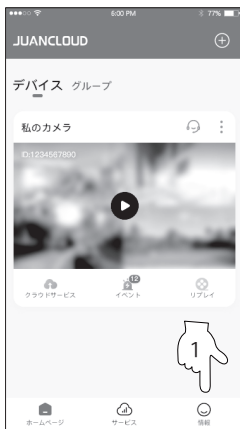
* シェア機の場合のみ表示



デバイスの共有（解除について）

デバイス解除について

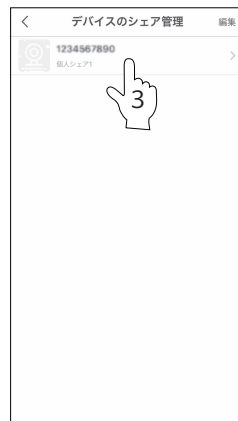
QRコードでシェアをした端末に対して共有が不要となった端末の解除方法について下記に説明します。



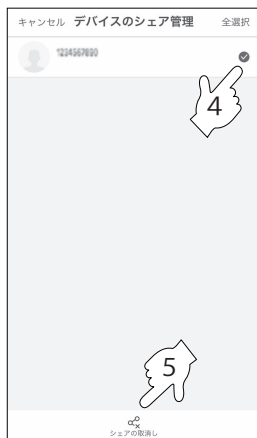
1. "わたし"をタップします。



2. "デバイスのシェア管理"をタップします。

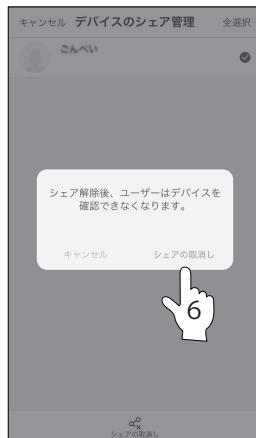


3. 親機の番号が表示されますのでタップ後編集をタップします。



4. 削除する端末にタップし

5. "シェアの取り消し"をタップします。



6. 内容の確認をして、再度"シェアの取り消し"をタップします。



解除したい共有先の情報が消えていれば完了です。

パスワード設定

パスワードの設定とは、個人情報流出防止強化のための設定になります。



1. 「設定」タップします。
2. 設定インターフェイスの一番下までスライドし、「パスワードの設定」をタップします。
3. 「パスワード」をタップします。



パスワード設定 つづき

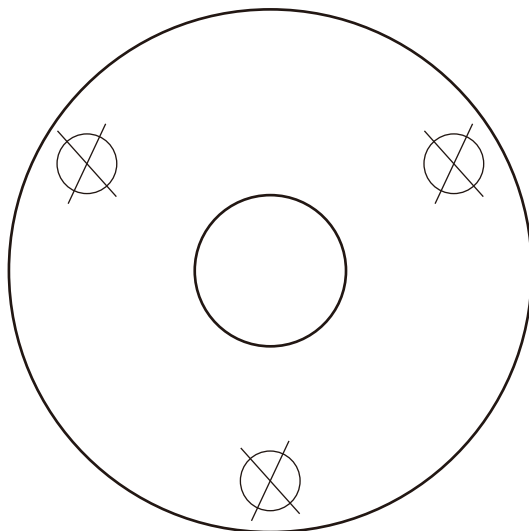
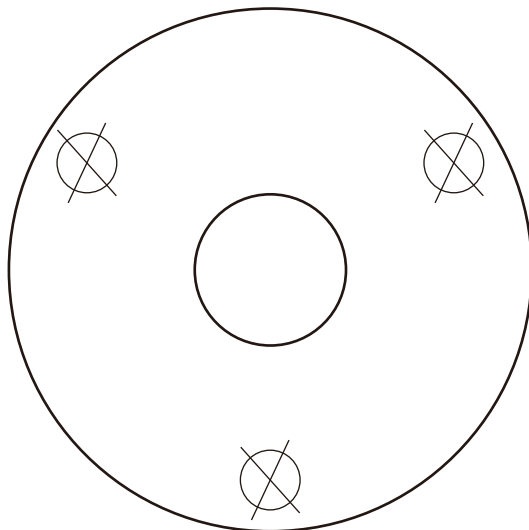
4. 元のパスワード：元のパスワードとは、現在使用中のパスワードです。
新しいパスワード：任意にパスワードを入力してください。
*英数字含め最大12文字まで(全角と半角にご注意ください)
パスワードの確認：新しいパスワードと同じパスワードを入力してください。
5. 「OK」をタップします。パスワードの再確認になります。
6. 「パスワードをリセットしました」と表示されたら、変更成功になります。

使用中パスワードの確認方法



1. 「・・・」をタップします。
2. 「編集」をタップします。
3. 「👁」をタップして、見える様になった番号は使用中パスワードになります。

カメラ設置位置決め用紙：このページを切り取り使用してください



カメラ設置位置決め用紙裏面

電波の到達距離について



見通し（カメラとモニターの間に障害物がない状態）で300mとなります。ただし、次のような場合には電波が届きにくくなります。

- ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
- ・カメラとモニターが別の階層や別の建物にある場合
- ・カメラとモニターの間に次のような障害物がある場合（外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具など）

このため、通信距離は一般の木造家屋では10～40mが目安です。

メモ

主な製品仕様					
JA-K6510-W レコーダー			JA-PO1031-W カメラ		
ビデオ入力	ネット & ビデオ入力	最大10台カメラ接続 (基本セットは2台付)	画素数	3 0 0 万画素	
			センサー	1/3" C M O S センサー	
ビデオ出力	HDMI出力	分解率: 1080P・1280x1024・1440x900・ 4K@30Hz (この分解率以外のテレビは使え ません。)	レンズ	F2.0;4mm、視野角度104°	
			昼と夜の 変換モード	ICR赤外線ファイル式	
			赤外線 照射距離	約 2 0 m (環境により異なります)	
映像圧縮方式	H.264, H.265		映像圧縮方式	H.264, H.265	
音声圧縮方式	G711A (音声出力対応)				
画素数	録画解像度	5MP/3MP/1080P	フレーム レート	ダブルフレームレート 2304x1296@15fps 640x360@15fps	
	同時レビュー	10 & 9局@720P / 6局@1080P 4局@3MP / 2局@5MP		最低被写体照度	カラ:0.1Lux, 白黒 0.01 Lux
ビデオ管理	ビデオ方式	常時録画、モーション検知録画、 スケジュール録画	音声圧縮方式	AAC/G711A	
	再生方式	常時 / 定時録画再生、モーション 録画再生、スマート録画再生 (SDカード保存録画は対応しない)	バックライト補正	対応	
	バックアップ方式	USBメモリーへ映像の書き出し	映像反転	水平、垂直反転対応	
ビデオ 保存方法		1TB内蔵式HDD付属(最大別売6TB対応) micro-SDカード最大256GB対応(別売) クラウド保存は日本対応しません。	スマート アラーム	PIR+移動感知	
			SDカード保存	microSDカード最大256GB (カメラ単独使用時のみ、 録画保存されます。)	
通信方式	無線	Wi-Fi 2.4G(IEEE802.11b/g/n)	通信方式	無線:2.4G(IEEE802.11b/g/n) (最大見通し300m;実際の使用 は約10~40m) 有線:RJ45端子Lanケーブル接続 (最大100mまで対応、Wi-Fiルー ターとの接続)	
	有線	RJ45端子よりLanケーブルを通し、 Wi-Fiルーターと接続		防水防塵等級	IP66防水防塵レベル
外部イン ターフェイス	2.0USB コネクター	マウス操作及びバージョンアップ (micro-SDカードホルダー最大256GB)	電源	ACアダプター 100~240V (50/60Hz) DC12V1A コード長さ 電源部約3m カメラ部約0.2m 消費電力:6W	
	音声出力	スピーカー内蔵		動作温・湿度	温度:-20℃~50℃ 湿度:95%未満 (結露なし)
電源		ACアダプター 100~240V (50/60Hz) DC12V2A コード長さ:約1.2m	寸法・重量	84×199.9mm、重量:約350g	
消費電力		9 W			
作動温・湿度		温度:-20℃/+50℃ 湿度:20% - 80 %			
寸法・重量		18.5×15.5×3mm 400g			

水鏡動画チャンネル

水鏡では、商品案内・操作方法などの
動画チャンネルを用意しています。
都度更新をしています。参照してください。



保証書

保証期間：お買い上げより 1 年間です。

保証内容：保証期間内に正常な状態で故障が生じた場合は、無償修理となりますので、保証書と購入が確認できる証明書（レシートなど）を本製品に添えて、お買い上げの販売店までご連絡ください。

製品名	JA-K6510-PO1031-W	
ご購入日	年	月
お 名 前 ご 住 所 電話番号		
販売店名・住所 電話番号		

次の場合は保証期間内でも原則有償修理とさせていただきます。

1. お客様ご自身による改造や修理により生じた故障や損傷の場合。
2. 水の浸入、落下などお取り扱い上の不注意により生じた故障や損傷の場合。
3. 天変地異、公害などの外的要因により生じた故障や損傷の場合。
4. 嗜好性（お客様の好みにより不具合と判断）によるもの。
5. 対象商品を直接送付する場合の送料等は、お客様のご負担となります。

お客様にご記入いただきました個人情報（保証書控）は無料修理対応、その後の改善活動等のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

メモ